

1 調査名称：姫路市総合都市交通体系調査

2 調査主体：姫路市

3 調査圏域：姫路市管内

4 調査期間：平成30年度～令和元年度

5 調査概要：

姫路市では、平成23年3月に兵庫県により策定された「都市計画道路網見直しガイドライン」に基づき、約89kmの長期未着手都市計画道路の廃止等見直しの検証を行い、平成29年12月に約21%にあたる約19kmを廃止した。

一方、国においては、平成29年3月に播磨臨海地域道路の計画段階評価手続きに着手しており、播磨臨海地域道路のルート決定が具体化したため、再度、播磨臨海地域道路の影響を考慮した都市計画道路網の見直しが要請されている。

本調査は、上記を背景として、兵庫県都市計画課が実施する将来交通量配分結果を受けて、姫路市の視点による播磨臨海地域道路有無別の将来交通量配分を実施し、播磨臨海地域道路の影響を考慮した都市計画道路見直し検討を行うものである。

I 調査概要

1 調査名称：都市計画道路網見直し検討業務委託

2 報告書目次

第1章 業務の概要

第2章 既定計画将来交通量配分の実施

第3章 見直し後都市計画道路網の将来交通量配分実施

II 調査成果

1 調査目的

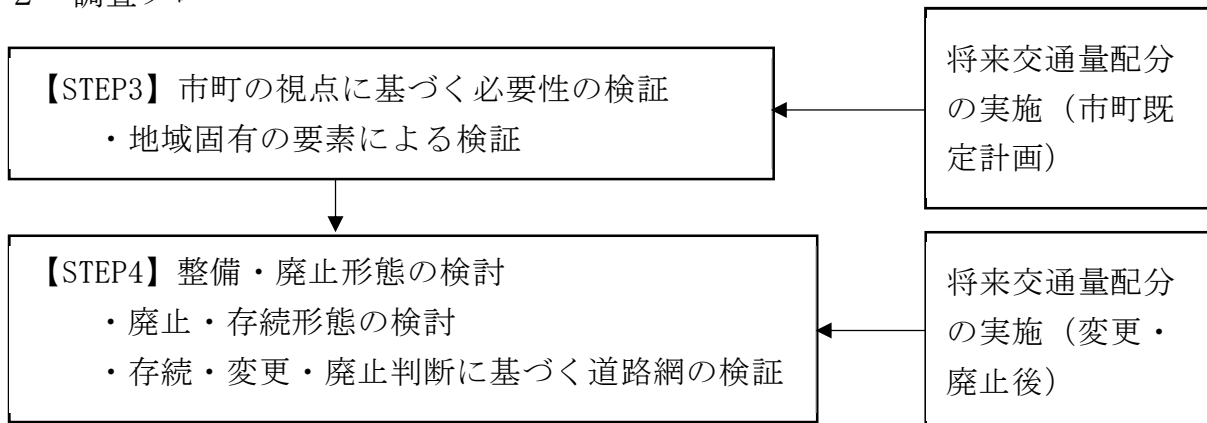
本業調査では、現在計画が進められている播磨臨海地域道路において、都市計画を定める区間（第二神明～広畑区間。播但連絡道路南伸部を含む。）による影響を考慮した都市計画道路網の見直しを行うため、姫路市において、「都市計画道路網見直しガイドライン[兵庫県 平成 23 年 3 月]」（以下「ガイドライン」という。）のうち、ステップ 3 及びステップ 4 を実施する上で必要となる将来交通量配分を実施する。

将来交通量配分は、最新の将来 OD 表（平成 22 年道路交通センサスペース平成 42 年将来 OD 表）を用いる。

これらの結果に基づき、ガイドラインによるステップ 3 及びステップ 4 を取りまとめる。

ステップ 1 及びステップ 2 を実施する上で必要となる将来交通量配分、配分条件の妥当性を検証する上での最新の現況 OD 表（平成 27 年道路交通センサス OD 表）を用いた現況交通量配分は、兵庫県が実施した。

2 調査フロー



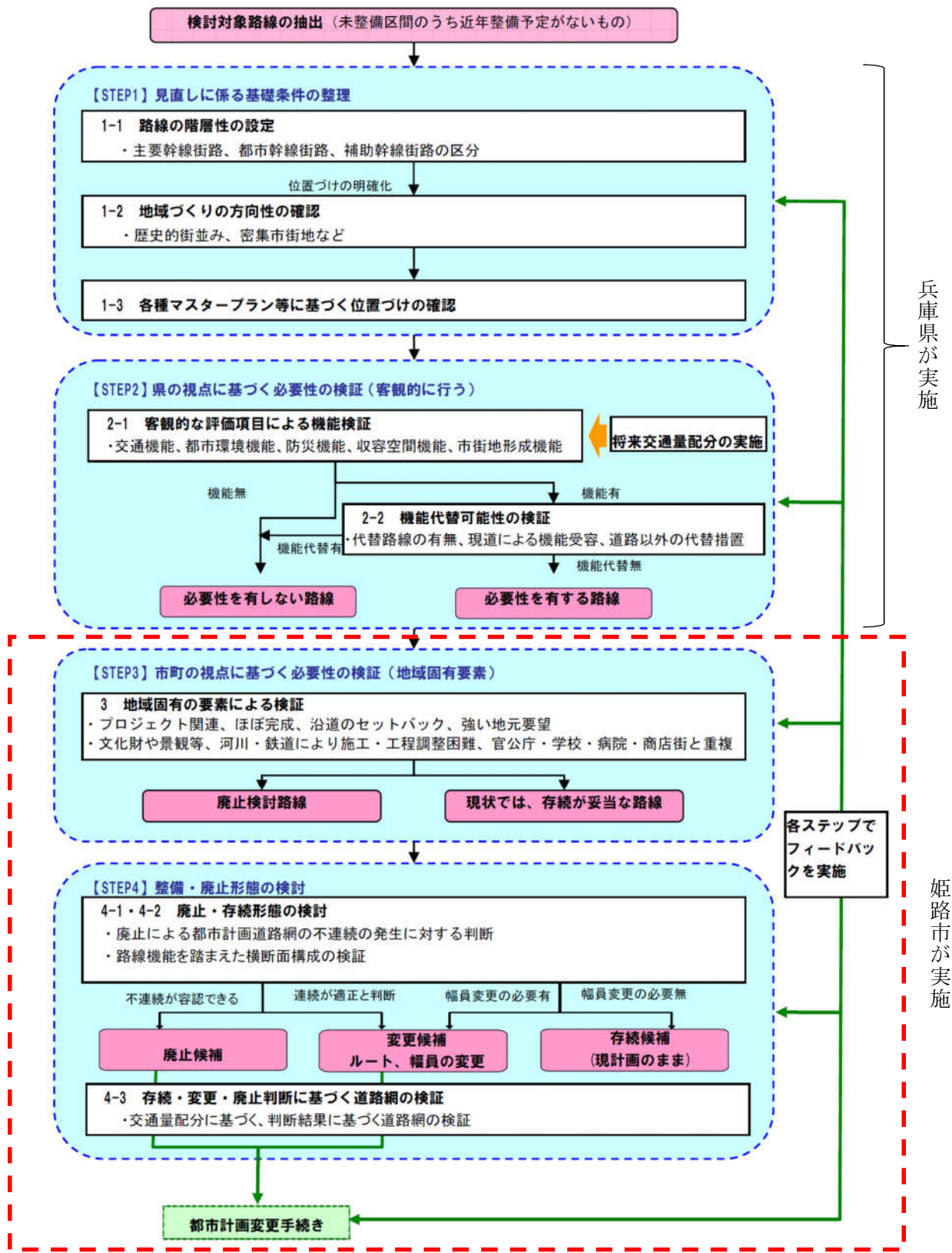
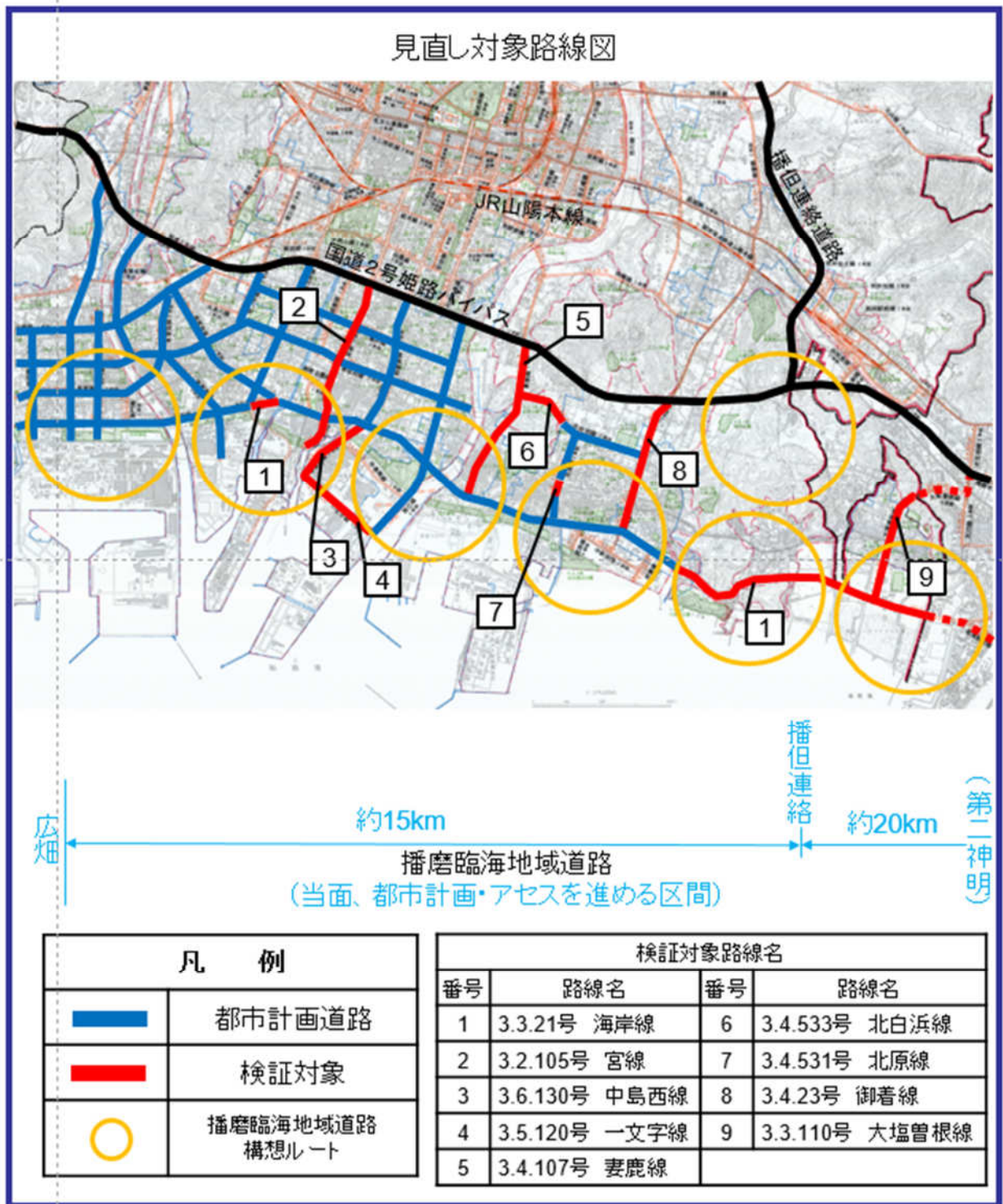


図 2.1.1 『都市計画道路網見直しガイドライン』

3 調査圏域図



4 調査成果

4-1 既定計画将来交通量配分の実施

- (1) 交通量配分の概要
- (2) 交通量配分的前提条件
- (3) 交通量配分手法
- (4) 交通量配分結果

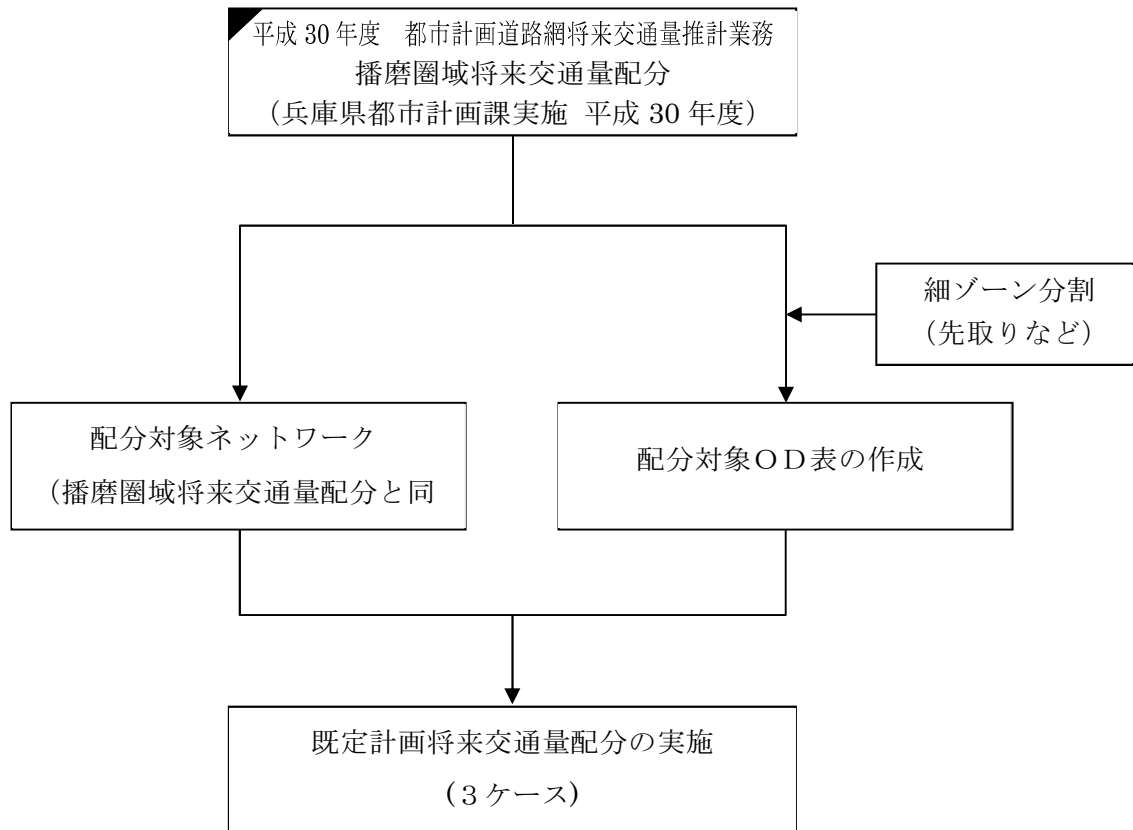
4-2 見直し後都市計画道路網の将来交通量配分の実施

- (1) 交通量配分の概要
- (2) 交通量配分的前提条件
- (3) 交通量配分結果
- (4) STEP4 における都市計画道路網見直し検証結果

4-1 既定計画将来交通量配分の実施

既定計画将来交通量配分は、図 4.1.1 に示すフローに従い、平成 30 年度に兵庫県都市計画課で実施した「播磨圏域将来交通量配分結果」を基本として、姫路市で必要と思われる先取りを行った上で再配分を行った。

なお、実施する配分ケースは「ケース 1：播磨臨海地域道路なし」「ケース 2：播磨臨海地域道路あり（無料）」「ケース 3：播磨臨海地域道路あり（有料）」の 3 ケースとした。



< 既定計画将来交通量配分ケース >

配分ケース	ネットワーク条件
1	播磨臨海地域道路なし
2	播磨臨海地域道路あり（無料）
3	播磨臨海地域道路あり（有料）

図 4.1.1 既定計画将来交通量配分フロー

4-2 将来交通量配分の実施

見直し後都市計画道路網の将来交通量配分は、図 3.3.1 に示すフローに従い実施した。

まず、兵庫県都市計画課で実施している都市計画道路網見直し検討のうち、STEP1・2の検証結果を受けて、別途STEP3の検証を実施した。

この結果から「存続」「廃止」方針を示し、その後、既定計画将来交通量配分結果の路線別交通量を基として「見直し後配分の車線数の設定」を検討した。

上記車線数の設定結果を交通量配分ネットワークに反映した上で、見直し後都市計画道路網の将来交通量配分を実施した。この交通量配分結果から、検討対象路線の整備方針を別途検討し、最終の検証結果としてSTEP4の検証結果を示した。

なお、実施する配分ケースは、播磨臨海地域道路が整備されることを前提として存続・廃止に関連する都市計画道路の交通量に幅を持たせて確認するために、「ケース1：播磨臨海地域道路あり（無料）」と「ケース2：播磨臨海地域道路あり（有料）」の2ケースとした。

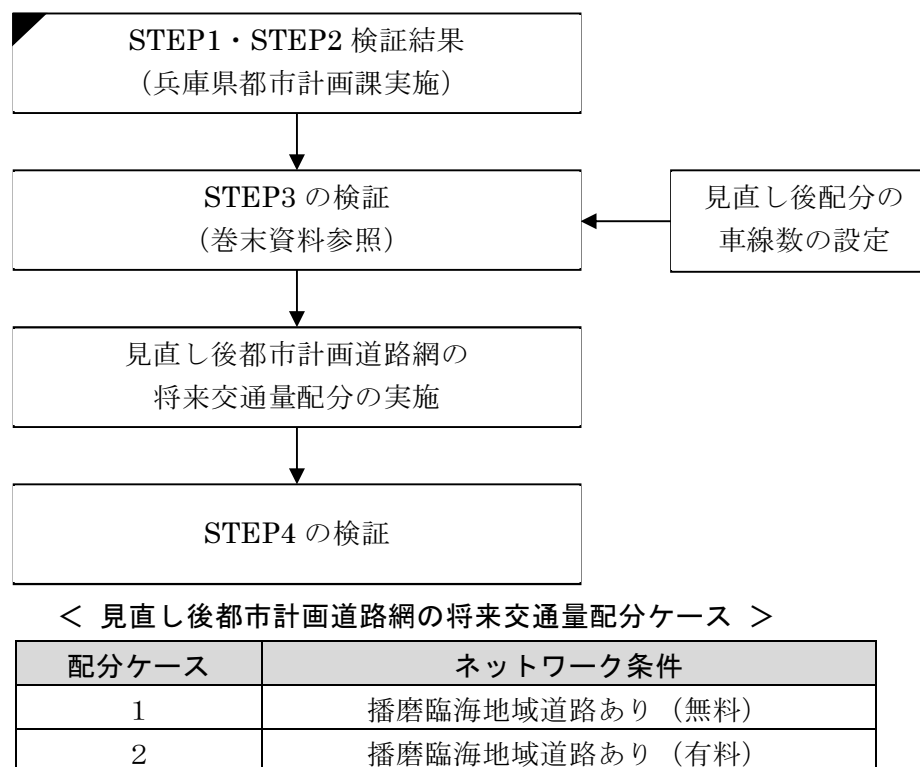


図 3.1.1 見直し後都市計画道路網の将来交通量配分実施フロー

なお、交通量配分結果については、現在播磨臨海地域道路の計画において検討中である不確定なルート及び構造に基づく情報であり、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。

都市計画道路網見直し検討にあたっては、兵庫県が策定した、図 2.1.1 に示す『都市計画道路網見直しガイドライン』のフローに従い、検証を行った。

STEP3 の検証結果を基に、見直し後都市計画道路網の将来交通量配分を実施し、都市計画道路見直し前後における交通状況の変化を確認した。この結果からSTEP4 における都市計画道路網見直し検証を実施した。

なお、都市計画道路の必要性の検証結果については、今後都市計画手続きの中で縦覧・審査する情報であり、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。